

（人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開）

このたび以下の研究を実施いたします。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 幼少期トラウマとうつ症状の発現に関連する生物学的マーカーの検討

【研究責任者】 小川 眞太郎

【本研究の目的及び意義】

この研究では、国立精神・神経医療研究センター病院の気分障害センター外来を受診され、バイオバンクに登録された患者様の血液を解析させていただきます。幼少期のトラウマと、その後のうつ症状の発生に関係する血液中の指標（マーカー）を探し、うつ症状が生じるかどうかの予測やタイプ分け、治りやすさの予測や適した治療法の選択、メカニズムの研究などに用いることができる生物学的なマーカーを開発することを目的とします。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

2012年12月7日より現在までの間に、国立精神・神経医療研究センター病院 気分障害センターで診療を受け、バイオバンクでの研究参加に同意された方

利用させていただく試料・情報等

試料： 血液

情報等：

背景情報： 性別・年齢・既往歴・食事時間・採血時間など

臨床情報： 診断・現病歴・自殺未遂歴・服薬情報など

心理検査・重症度など：

- Childhood Trauma Questionnaire 6 項目版 (CTQ-6)：幼少期のトラウマについての自記式尺度。
- ハミルトンうつ病評価尺度 (Hamilton Depression Rating Scale, HAM-D)：臨床面接に基づき、うつ病の重症度を評価するための症状評価尺度。21 項目。
- ヤング躁病評価尺度 (Young Mania Rating Scale, YMRS)：臨床面接に基づき躁病エピソードの重症度の評価を行なうための症状評価尺度。11 項目。
- その他の評価尺度スコア (Montgomery-Åsberg Depression Rating Scale [MADRS], ベック抑うつ質問票 第2版 [BDI-II], Ways of Coping Checklist [WCCL], 統合失調症認知機能簡易評価尺度 [BACS], ピッツバーグ睡眠質問票 [PSQI], MOS 36-Item Short-Form Health Survey [SF-36], 対人応答性尺度 [SRS]), ライフイベントチェックリスト

研究期間

2020年6月24日より2026年3月31日まで

2025年1月

○ お問い合わせ窓口 （研究内容につきまして）

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所

所属 行動医学研究部 氏名 小川 眞太郎

電話番号 042-341-2712 (内線: 5694)

e-mail: sogawa※ncnp.go.jp （「※」を「@」にご変更ください。）

○ お問い合わせ窓口 （検体や同意撤回につきまして）

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター バイオバンク

所属 メディカル・ゲノムセンター バイオリソース部

電話番号 042-346-3520

e-mail: biobank※ncnp.go.jp （「※」を「@」にご変更ください。）

○ 苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail： ml_rinrijimu※ncnp.go.jp （「※」を「@」にご変更ください。）